

（午前10時35分 再開）

○議長（石橋英和君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番15、5番 森下君。

〔5番（森下伸吾君）登壇〕

○5番（森下伸吾君）今回の一般質問、最後の質問者になります。よろしくお願いをいたします。

ただ今、議長のお許しをいただきましたので、通告に従い、一般質問を行わせていただきます。

今回の一般質問としまして、橋本市の魅力を動画配信できないかについてお聞きいたします。

企業誘致や市内観光の紹介などのPR・プレゼンテーションを効果的に行うために、今や映像は必要不可欠なアイテムです。

「百聞は一見に如かず」ということわざどおり、地方の魅力を端的に見せるには映像は効果的であります。ユーストリームなどの動画生中継で、各地の祭りや花火大会等のイベントを中継したり、地元の青年会などによる番組を中継しているところもあります。

こうした動画を使った地方の情報発信で、青森県は興味深い取り組みを行っております。

「あおもり映像コンテンツ・プロモーション」というホームページには、現在4,000以上の映像が登録されており、ここにある映像素材はダウンロードしたりコピーしたり、他人へ配ったり公表したりすることができます。

これらの動画素材は、青森県の職員が自ら撮影し、県として著作権を保持しながら管理・蓄積しており、プロ・アマ問わず、広く一般に利用することができます。

これにより、県内観光地や県内企業など県民全体が、企業誘致・観光客誘客・商談等あらゆる場面において、安価で効果的なPRを図ることを可能としています。

映像という現在最もニーズの高いPR手段を使い、橋本市の露出を増やし、橋本市全体の訴求効果を高め、市内の地域活性、各種産業の振興等を図るべきだと考えますがいかがでしょうか。

以上のことをお聞きしまして、私の第1回目の質問といたします。

○議長（石橋英和君）5番 森下君の本市の魅力の動画配信に関する質問に対する答弁を求めます。

経済部長。

〔経済部長（大倉一郎君）登壇〕

○経済部長（大倉一郎君）橋本市の魅力を動画配信で、のおただしについてお答えします。

インターネットの大容量通信環境の整備により、ビデオカメラやスマートフォンで撮影した動画を動画投稿サイトへ投稿することができるようになってきました。閲覧者にとって、文字情報や写真よりも臨場感をもって見ることができ、その撮影場所がどのような様子であるかをよりリアルに情報発信することができます。

本市においても、企業誘致室が本市の概要を地勢・歴史・観光・特産品編、イベント・住環境・教育施設編、企業誘致編の3編でそれぞれ5分程度にまとめたプロモーションDVDを平成23年度に1,000枚作成し、訪問企業や観光案内所などに配布して本市のPRを行っています。また、この映像は本市ホームページにも登録されており、インターネット環境が整っていれば誰でも閲覧が可能となって

います。

観光面においては、市ホームページや橋本市観光協会ホームページで、積極的に画像を使い、その場所が現実的にイメージできるよう努めています。また、観光エージェントやメディアとの商談においてタブレット端末等で動画を使うことにより、効果的なプレゼンテーションができるようになることから、現在、機器導入、ソフト制作などを検討しています。

観光スポットや地場産品などの映像情報をデータ化して蓄積し、場所を問わず低コストで情報発信するアイテムとして動画サイトを活用することは、本市をPRする上で効果的な手法であると考えています。

しかしながら、市のホームページは、本年4月からクラウドサービスを利用しており、現在のシステムでは同時に複数の方に動画を配信できるような仕組みにはなっていません。また、サービスを利用する上で、ファイルの容量などに制限があるため、複数の動画を配信するという用途には向いていません。

市議会でも利用されているユーストリームやユーチューブなどといった無料で動画を配信できるサービスを利用する方法は、セキュリティ確保の観点から、市内ネットワークを利用して投稿することは現状ではできませんが、スマートフォンなどの携帯端末や動画投稿用の専用回線を設置して利用することは可能であると考えています。

しかしながら、動画を投稿するまでの運用形態や職員体制、動画の内容確認作業など、十分な検討が必要であると考えています。

議員のおただしの趣旨を踏まえ、可能な方法について研究をさせていただきます。

○議長（石橋英和君）5番 森下君、再質問はありますか。

5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ご答弁ありがとうございます。それでは、ご答弁いただきましたので、再質問させていただきたいと思います。

先ほど部長のご答弁にもありましたように、映像によるアピールというのはすごく効果的であるというふうにお聞きいたしました。私も、このお話をするにあたり、市のホームページの企業誘致室の中に動画を配信しているということを知りまして、見させていただきました。それぞれ見せていただき、5分の動画が三つに分かれてあるんですけども、これが、配信を開始してからどれだけ閲覧されたかというのは、アクセス数ですね、そういうのはわかったりしますでしょうか。

○議長（石橋英和君）企画部長。

○企画部長（森川嘉久君）それぞれ、一応確認はとっておるんですけども、ちょっと現在、手元に資料がございませんので、残念ながらお答えできません。ちょっと、後ほど、またお答えさせていただけたらと思います。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ありがとうございます。ということは、閲覧した数がわかるということで、理解させていただいてよろしいかと思えます。

私、これできるかなと思って、できないんじゃないかなというふうに思って、今、質問させてもらったんですが。例えば、先ほどもありましたように、ユーチューブなどの無料動画配信システムとか、そこに配信をしますと、その動画がどれだけ見られたか、閲覧されたかというのは瞬時に、数として下に出てくるようになっております。ですので、その動画が本当に見られているのかどうかを検証することがすぐにできるんですが、この状態であれば、すぐにできるのかどうかというのがちょっと疑問になったので、そういう質問をさせていただきました。

さらに、先ほどありましたように、これ5分になってまして、例えば、最初のコンテンツの中の地勢・歴史・観光・特産品になりますと、この中で、例えば観光地で、こういうところを見たいというふうに思っても、それを5分間ずっと見て、その観光地が出てくるまで探さないといけないということでもありますので、今、ネットでいろいろ調べられる方というのは、例えば、隠れ谷池でヘラの釣りができるというふうになれば、その池はどなたのところかと思って検索するわけなんです、この動画を見ている限りでは、どこにそれがあのかというのがすぐにはわかりません。ですので、まず、ネット見られている方というのは、すぐに出てこなければ、そこから離脱してしまう方がほとんどでありますので、瞬時に映像がすぐに見えるほうが、本当はいいのではないかなというふうに思います。

私もDVDを見せていただいて、すごく企業誘致の持っていくDVDとしては、すごくまとまって、よくわかっている内容に仕上がっていると思いますので、この映像自体は決して悪くはないと思います。ただ、やはり、もっと映像として、情報が端的に早くわかればいいんじゃないかと、より魅力を発信できるんじゃないかというふうには思います。

先ほど、観光協会のホームページのお話も出ていましたけども、例えば、観光協会も見せていただきまして、レジャーの情報のページで、隠れ谷池のページがありますけども、そこには写真がたしか1枚だけであって、下に文字があるということであつたと思います。

部長、先ほどありましたように、写真をふんだんに取り入れというようなこともおっしゃっていましたが、あの1枚を見ただけでは、なかなかわかりづらいんじゃないかなというふうに思います。

ですので、左側にメニュー画面出て、いろ

んなメニューがありますけど、その中にフォトライブラリーというページがありますけども、そこにも、フォトライブラリーを見せていただいて、映像ではないですけども、フォトライブラリーですので写真が並んでおるんですが、あの枚数も、ちょっと私にしては少ないんじゃないかなと、フォトライブラリーにしては。ライブラリーというほどのものではないんじゃないかなと、申しわけないですけど思うんです。ですので、あのライブラリーももっと充実してもらいたいですし、さらには、そのライブラリーのところに、動画ライブラリーという動画専用のページをつくっていただくということは、お考えはいかがでしょうか。

○議長（石橋英和君） 経済部長。

○経済部長（大倉一郎君） 写真で見ることでより動画で見ることについては、人に与える印象というんですが、感じが全く異なると思います。先ほどの隠れ谷池のお話も出ましたけども、実際、現場の釣りをしている状況とか、本当にヘラブナがかかった状況とか、現地での映像を流して、橋本市の隠れ谷をアピールするという自体は、非常に皆さんに橋本市をアピールする上では、非常に重要なことだと私は思います。

今も、市のホームページの中の観光に関してのデータを情報発信をしているところでもありますけども、さらにもっと充実させるような形で充実させるような形で考えていきたいなと考えます。

○議長（石橋英和君） 5番 森下君。

○5番（森下伸吾君） にぎやかなんであれなんです、この企業誘致室のホームページですが、動画コンテンツのページですが、これは実際には市のホームページのサーバーに同じようにアップをされているというふうに思います。ですので、多くの画像をここに投稿

するということはもちろん不可能だと、容量の関係上無理やというふうには考えます。ですので、私もそれを望んでおるのではなくて、今、便利な無料投稿サイトがありますので、そこを利用してやればいいのではないかなというふうにも考えます。

このお話をするのに、私もいろいろなところを見まして、先ほどからもお話ししました、青森県や福岡県の糸島市というところも同じような画像を使って紹介をしております。少しそのお話をさせていただきますと、例えば、糸島市では、2013年9月から市内の観光地の魅力やイベントなどの内容を動画で紹介する「糸島市へ行こう」という番組といますか、画像をホームページで配信を開始しております。その動画の撮影とか編集とか配信というのは、民間の企業に委託しているわけなんですけども、この費用というのは、県の緊急雇用創出基金事業を活用しているということがあります。本市でもこういうふうな補助金を活用して運用できるのではないかなというふうに考えますが、その点いかがでしょうか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）糸島市、福岡県にある糸島市ですかね、私も糸島市の観光的なPRをネットのほうで見させていただきました。その際、民間のほうへも観光PRについての委託をお願いしているというところも見させていただきましたけども、緊急雇用の補助金を使って、民間への委託も行っているというようなところでもありますので、橋本市のほうも今後、研究をしていかなんのかなと考えます。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ありがとうございます。確かに費用のかかることですので、なかなかハードルも高いのかなというふうにも思います。ですので、研究していただくのが

一番かなと思います。

そういった費用をかける方法、糸島市なんかはしておりますけども、先ほどからもありました青森県、青森方式といますか、青森県などはほとんど費用をかけずにやっております。というのも、その動画撮影をしているのが、県の職員でありまして、その撮影した素材をユーチューブにアップして公開しておるということでもあります。

県のホームページを見て、その動画を見る方もいますけども、逆に、ユーチューブからその映像を見て、その県に、地域に興味を持って、県のホームページやその地域に入ってくる、初めて知るという方もいらっしゃいます。

先ほど、部長の答弁にもありましたように、アップするには、セキュリティ上の問題で、専用回線やそういうこともあるということ、問題もあるということでしたが、専用回線を引けというのなかなか言いづらいことなんですけども、専用回線を使っていたらアップは可能だと思いますので、そのあたり、この辺は、専用回線使ってもアップしてみたいなというふうに部長自身も思っていたか、その辺いかがでしょうか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）私の自身というようなお答えでよろしいんですか。

経済部長としてのご答弁をさせていただきたいと思います。本当に動画配信につきましては、本当にその場で、実際現地のほうでやって、皆さんが感じ取られるというような非常にメリットがございますので、先ほどお話もありましたとおり、青森県のほうの県がつくっている動画も見させていただきました。本当に動画を配信していくということは、非常に橋本市にとっても、重要なPRにもつながってはいくと思いますので、今後、セキュ

リティーの問題等いろいろ発生、あと情報環境的なコンピュータの整備のというんですか、ソフト面の関係も出てきますので、情報推進室とも協議をしながら、連携をとりながら研究をしていきたいなと考えます。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ありがとうございます。セキュリティの問題、確かに大事であると思いますし、この市議会もこのユーストリームで生放送といいますか、生中継するにあたっては、その部分が一番超えなくてはならないハードルやったと思います。そのため、専用回線を引かまして、今、こうやって専用回線で生中継をさせていただいているということでもありますので、決してできないことではないとは思いますが、ですので、そのあたり、今、そんなにもこの動画に関してはハードルは高くないんじゃないかというふうにも考えます。

先ほどの企業誘致室のDVDのような、いかにもまとまったような大変な、橋本市をコンパクトに伝えるようなものをつくろうと思えば、何十万、何百万という費用がかかってくると思いますが、そうではなしに、その魅力を伝えるだけの投稿で、画像であれば、本当に職員ができないことはないんじゃないかと思えます。

和歌山県も同じようなインターネット放送局を持っておりまして、この和歌山県のインターネット放送局も、一般の方から、和歌山県をテーマにした動画を募集しております。それを精査して、投稿していただいた動画は同じように、ユーチューブにアップをしているということでもありますので、県もやっておりますので、市もできないことはないと思います。ですので、市の職員が大変やというのであれば、こういうふうに一般に募集するということも可能ではないかと思えますが、そ

の辺いかげんでしょうか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）県のほうでも、動画をユーチューブへ投稿しておるということで、私も投稿している動画のほうも見させていただきました。一般の方にも投稿していただくような形で、橋本市のPRを積極的に行っていくということも非常に重要なことなのかなと私も思います。その点につきましても、今後研究をしていきたいなと考えます。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）そうですね。ですので、そういった一般の方のお力を、市内にも映像撮影を趣味としている方のグループもごきますし、愛好家の方もたくさんいらっしゃいます。そういう方からも投稿いただくことも可能だと思いますし、特に、最近思うのは、一般の方から募集して効果を上げていると思ったのは、市のマスコットキャラクターの募集であったと思います。あれも、市としては多分費用はほとんどかかっていないと思いますが、この間締め切ったとは思いますが、あのおときというのは、ちょっと違いますけども、募集は何件くらいあったんでしょうか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）マスコットキャラクターの募集につきましては、11月末で締め切りまして、12月に検討委員会をもって、今、何点かのマスコットキャラクターの選定をさせて、3点選定をさせていただきます。募集につきましては376だと思っておりますけども、ちょっと記憶違いかわかりませんが、370余りの募集がありました。

以上です。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ありがとうございます。ちょっと急なことだったので申しわけないです。それだけ、370件を超える募集があったと

いうことでありますので、本当に採用されれば、もちろん市のキャラクターとなるわけですから、その方にとっても、特段その方に費用を渡すというか、そういうことはあるわけではないですよ、もちろん。そういうことはないんですか。

済みません、質問がずれましたので、その辺は結構なんです。そういうことで、一般の方の、いわゆるこれから民間の活力を利用してということでもあると思います。ですので、行政があまり得意でないところであったとしても、民間の方の力を使えば、こういったいろんなことも、いいことができるという一つの事例であったというふうに思います。

済みません、マスコットキャラクターの話も出ましたので、せっかくなので、これっていつ決定されるんでしょうか。申しわけないです。ちょっと通告外ですが、せっかくなので。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）今、3点選定をさせていただいてあるんですけども、3点の中から1点を選ぶという形になりますけども、公表的には来年1月のころには、公表はできるのかなと、こう思います。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）今、3点から一つに絞っているということで、もう来月には発表していただけるということで認識させていただきます。マスコットキャラクターも本当にすごく市のPRになると思いますし、今、国体などは「きいちゃん」がすごくアピールで回っておりますので、やはり、子どもたちにとってもすごく入りやすいんじゃないかと思えますし、そういった先ほどから言いますように、民間の力をお借りすると、民間の活力をするという意味では、すごく、その動画投稿ということでも、これはいいきっかけではな

いかというふうにも思います。

そういう意味で動画配信で、今、一番、市の職員と市民の方でしっかりと取り組んでいただいているのが、AKB48の曲「恋するフォーチュンクッキー」の曲に合わせて、市民の方々がいろんなところで踊るというのを今やっておると思います。市長や副市長も一緒に踊っていただきまして、もうすぐ完成ということでもありますけども、これも11月に立ち上げようというお話を聞いたというふうに聞きまして、今もう12月中旬ということ、ほとんど1カ月ぐらいでこれをやり切っているということでもあります。ですので、なかなか、これが行政の方がやるとなると、いろんな手続き上、すごくスピード感がないというふうに思いますが、こういうふうに民間の方々と協働してやれば、すごくスピード感を持ってできるんじゃないかというふうに考えます。この「恋するフォーチュンクッキー」の公式をとれば、アクセス数がすごく増えます。これ、もし橋本バージョンで公式が取れば、すごいアクセス数があるんですけども、ちなみに今、神奈川県とかも、鳥取県なども、アップしてるんですが、神奈川県などはこの動画が、アクセス数が286万アクセスです。286万回再生されているということになります。鳥取県でも24万回再生されているということになります。

ですので、こういった無料の動画投稿サイトではありますけども、こういうことを利用することによって、すごく広く市をアピールすることもできますし、これをつくっている上で、私もこの橋本観光ガイドにいろんな観光地が載っておりますが、この前で市民の方々が踊っていただいて、それをつなぎ合わせているわけなんですけども、このお話をしているときに、似賀尾池の話が出まして、似賀尾池ってどこよという話で、もう橋本に長いこ

と住んでいらっしゃる方でしたけども、似賀尾池って行ったことがないと、知らんと、こんだけ透明度がいい池なんですよという話をしても、見たことがないという話でありました。ですので、本当にそういうふうな動画を使うことによって、橋本市の市内の方も、見たことがないところの地域を発見できるということもありますし、もちろん、市外のほうにも発信できることもできると思います。

さらに、この今取り組みを行っていることで、各課ともほとんどの課で、今出演をしていただいて撮っていると思いますけども、こんなに各課が団結して、市役所一体になってやっていることというのは、なかなかないんじゃないかと思いますが。市民の方とも交流することも多かったですから、市民の方々の距離を縮めるという意味ではいい機会ではあったと思いますし、ふだん難しい顔をされている職員が、こうやってにこにここと踊っている姿を見ていると、すごく親近感を覚えるんじゃないかというふうにも思います。さらに、こうやって取り組むことによって、メディアにも取り上げられているというふうにも聞いております。

何か一説に聞きますと、五條市なんかもすごく興味を持って、問い合わせに来たというふうにも聞きましたが、その辺、いろいろ商工観光課とかにも問い合わせとかは来ておりますですか。

○議長（石橋英和君）経済部長。

○経済部長（大倉一郎君）メディアからの問い合わせにつきましては、私ちょっとまだ聞いておりません。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）いろいろ問い合わせがあると私は聞いております。先日も、高野口小学校の前で、「きいちゃん」と子どもたちが一緒に踊ったんですが、そのときにも、朝日

新聞ですか、来ておりましたし、きのうも産経新聞ですか、が取材に来ていたということでもありました。ですので、そういうふうな形でも、すごく市をアピールする機会にもなっておると思いますし、五條市なんかも興味を持って問い合わせに来ているというふうにも聞いております。そういう意味では、先駆けて橋本市はやっているんじゃないかというふうにも思います。

そういう意味で、今いろいろな媒体がありますので、この橋本市、多くの方に来ていただいて、よりよくアピールしていただけるためにも、こういうふうな無料投稿サイトを使って多くの方に知っていただく、また、市内の方にも知っていただいて、この橋本市を好きになっていただくといえますか、愛していただけるようなそういった機会をどんどん増やして、露出を増やしていくことが大事ではないかというふうにも思いますので、ぜひとも検討しますというふうにも思いますので、先ほど言っていたきましたので、ここは先ほどの無料投稿サイトに投稿すれば、費用的なことはかからないわけですから、ここはハードルはそんなに高くないと。もう部長が専用回線引きますと言っていたら、それでもう事足りるんじゃないかなというふうにも思いますので、それを期待しまして、私もその辺、要望させていただきたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

企画部長、よろしく申し上げます。

○議長（石橋英和君）企画部長。

○企画部長（森川嘉久君）先ほど、答弁を保留させていただいた企業誘致動画の閲覧数でございますが、9月から11月、直近3カ月で、一応、トータル114件というふうになっておまして、市のコンテンツといたしましては、比較的見ていただいている部類に入るのかなというふうに思っております。

○議長（石橋英和君）5番 森下君。

○5番（森下伸吾君）ありがとうございます。何とも言いたいです。先ほどの神奈川県が286万ですから。こっち114で、比べるのはあれですが。ただ、一つ言わせていただくと、この動画見つけるまで、ちょっと入っていかないと見れないんです、この動画。だから、トップページのどこかに見れたら一番いいんじゃないかなと思うんですけど、ここまでたどり着くまでに大分時間がかかりましたので。そうすると、見てくれない可能性が多いと思いますので。私、この114件のうち大分見ていると思いますので。私の件数も入っていると思います。大分調べましたので、似賀尾池、どこに写っているやろうと思ひまして、何回も見ましたので。

です。ですので、そういったいろいろな知恵、特

に、先ほどのフォーチュンクッキーの話もそうですねですけども、若い方の職員が中心になって今、頑張って取り上げていただいていますので、こういった方々がすごく元気があつて、市役所でいろいろと盛り上げていただければ、さらに市としても活気が出てくると思いますので、そういうことも要望しまして、私の一般質問終了といたします。

ありがとうございます。

○議長（石橋英和君）5番 森下君の一般質問は終わりました。

---

○議長（石橋英和君）これにて一般質問を終結いたします。

以上で本日の日程は終わりました。

本日は、これにて散会いたします。

（午前11時8分 散会）